

2021～2022 年度 第 1 回 一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 広報情報委員会 議事録			
開催日時	令和 3 年 6 月 23 日（水）	会 場	Web 会議
出席者	前担当副会長：大和田優 委 員 長：杉本勝郎 副 委 員 長：加藤一郎 委 員：雨森隆子 有泉絵美(欠) 赤川真理(欠) 小山将史(欠) 中原尚代 小井口英寿(欠) 仙波 弦 事 務 局：久保田千尋		
1. あいさつ ・ 大和田前副会長 ・ 杉本委員長 2. 報告事項 ・ 6 月 28 日理事会にて新副会長決定予定。委員はその後の決定になる予定。 ・ 会誌日事連が 7 月号より Web 化となるため、7 月号にその案内を封入予定。杉本委員長にて構想中。 3. 議題 (1) 瓦版 8 月誌面検討（7 月 21 日（水）㍻）と校正担当について ・ 表面：今後の講習会・日程等 ・ 裏面：総会後の理事会経緯報告（大和田前担当副会長） ・ 裏面校正担当…湘南ブロック (2) 会報「KANAGAWA」7 月号・9 月号誌面検討 1) 7 月号（6 月 1 5 日（火）締切） ⇒ 一部校正中 7 月中に発行するが、発送は下旬ころとなる予定 表紙 1 頁 総会報告 2 頁 正副会長紹介 （正副会長） 会長：半分 副会長：半分 3 頁 副会長紹介・組織図（副会長） 4 頁 理事・監事紹介 5 ～ 頁 支部役員紹介 （各支部） ※予定。 支部役職・名前・顔写真・事務所名・支部組織図 QR リンク 最終頁 事務局だより （事務局） 最終頁 編集者のつぶやき （相模原支部） 杉本委員長 裏表紙 （募集中） ・ 会長へ寄稿依頼を発出する。 ・ 副会長への寄稿依頼は、副会長決定後に速やかに委員へ内容確認を行い、その後に発出する。 台割についても、副会長決定次第、要検討。 ・ 支部役員紹介サンプルについての意見 ・ 地図の位置ならびに大きさの調整検討 ・ 支部名とわくの位置調整の検討 平行⇒高さを変える ・ 支部役職名の掲載内容の検討 ⇒委員は校正にて再度意見を述べることとする。 2) 9 月号（8 月 1 3 日（金）締切） 表紙 （募集中） 1 ～ 2 頁 建築探訪 （川崎支部） 赤川委員 3 ～ 4 頁 会員仕事紹介 （県西支部） 加藤副委員長 5 頁 支部だより （横須賀ブロック） 小山委員 6 頁 支部だより （県央ブロック） 小井口委員・仙波委員 7 ～ 8 頁 旅行記 （横浜支部） 雨森委員・有泉委員 9 頁 神事協活動報告（仮題） 神事協・消費生活センター締結の覚書による活動 約 1/3 ページ 覚書概要 約 2/3 ページ 現場レポート 雨森委員 1 0 頁 事務局だより （事務局）			

- ・ 委員会活動だけではなく、神事協として活動している内容の周知
- ・ 次回委員会日程については、新委員が決まり次第、決定する。

以上

2021～2022 年度 第 2 回 一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 広報情報委員会 議事録			
開催日時	令和 3 年 10 月 22 日（金）	会 場	神事協会議室（Web）
出席者	担当副会長：杉本勝郎 小松正道 委員長：鈴木武昭 副委員長：白川 幹(W) 委員：櫻田修三(欠) 長友寛昌(W) 鈴木玲成 近藤敦司(欠) 熊澤悟史(欠) 中山裕次 事務局：久保田千尋		
1. あいさつ ・ 自己紹介 2. 報告事項 ・ 組織図（案）について 杉本担当副会長より説明。11 月理事会にて決定予定。 ・ 昨日の会報誌編集特別委員会にて、12 月よりメーリングにて瓦版を発出することとなった。 3. 議題 （1）広報情報委員会の活動について 作業項目 □SNS 更新 ・ Twitter 昨年度より試験運用中。今後本格運用に移るための準備をする。 地元情報を入れるようにする。（横須賀支部の FM ラジオ出演を掲載している。） ・ instagram スマホが必要（携帯電話番号との紐付けが必要）なため、要検討。 ・ facebook 新規登録予定。 ⇒Twitter・facebook の運用の実施で検討予定。 Instagram や Twitter は最新の情報が載っている。大きなニュースでなくても、身近な内容を掲載すればよい。 SNS の実施は、効果が出るまで時間がかかる。 Twitter は予告、Facebook は動画、インスタは写真 等、コンテンツにより役割を変えると分かりやすいのでは。 まずは試用していき、慣れてみれば活用のアイディアも出てくるのでは。 ・ ホームページ更新 2018 年に新ページを公開したが、未完のページが多い。長期的視点で更新する。 （メンバーページが過去のまま） 今期は検討を行い、来期に実行に移していきたい。 ・ パンフレット更新 現在のパンフレットが古くなっているため、本会からの要望あり。 配布の機会が減っていること、内容の更新が数年おきにあることから、電子版を作成し、配布の必要な際にはそれを印刷すればよいのではと考えている。 ・ 二次元バーコードの活用 名刺の裏に二次元バーコードを印刷し、Web へ接続してもらうのはどうか。Web 記載内容は要検討。 □長期的な作業項目 ・ 機関誌（KANAGAWA）との連携 2 次元バーコードによる Web 連携(続きは Web で)は現在も実施している。			

- ・ 連絡方法の決定

メール以外の連絡方法の模索 即時性のあるもの

統括委員長会にて会員向けのサポートセンター開設の動きあり。

広報情報委員会としては、会員向け相談コーナー開設のための使用ツールを探し、統括委員長会へ提案をする予定。

委員間の連絡に使用して実績を積む。

【使用ツール候補】

1. LINE WORKS

業務用 LINE

LINE の機能はそのままに少し堅苦しくしたもの

ビデオ通話可能(無料だと 4 人まで)

組織内での作業に特化していて委員会には向かないかも

2. Microsoft Teams

ビデオ通話可能(100 人 1 時間まで)

Microsoft アカウントが必要(無料)

設定が面倒、重い、バージョンアップで障害が出やすいという話も

3. slack

後から入っても過去のログが見られる

Web 版がある

メルアドだけで招待が可能

有料版が高価(850 円～)

4. Skype

ビデオ通話の元祖

ビジネス版は Teams に統合された

□令和 4 年度予算項目の決定

(支出)

パンフレット印刷費

ホームページ改訂費

スマホ代 (インスタグラム用)

交通費

⇒予算策定書類一式が来たら、上記項目にて策定し提出する。

- ・ 作業担当決め

SNS 書き込み

全員で持ち回り。 まずは個人で使用し、慣れてもらう。

H P 検討

委員長+2 名程度 今年度は方針の決定、来年度は作業実施

パンフレット検討

今後検討

機関誌連携

杉本担当副会長・小松担当副会長補佐が会報誌編集特別委員会担当副会長と兼任している

(2) その他

- ・広報情報委員会にて行っていく方向性について、意見等
広報情報委員会内だけではなく、神事協全体としてどうしていくか。DXについての検討。
会員増強と知名度上昇のどちらを主軸に考え広報活動を行うか。方向性によりやることが異なる。
HP へどのような内容を掲載するか。また、その頻度。コンテンツとして何を集めて展開していくのか。
⇒かっちり決めすぎず、柔軟に実施していくのもよいのでは。SNS を少しずつ使用し、実践していく。
また、情報発信は神奈川県内まんべんなく発信していく。
まずは神事協という組織の周知を主軸とする。

DX は、神事協で昨年末頃から計画されている。会員増強・既存会員の退会防止

広報情報委員会では、コンテンツを生み出す、アイディアを出す作業を行うことが必要。継続して実施していくためには、SNS 等へのアップロード作業を属人化しないような、オペレーティングの決定が必要。

SNS へのアップロードは、会員へのメリットにつながるのか。年配のかたにはメリットを感じる事が難しいのでは。

⇒年配のかたにもなじみのあるような、掲示板に掲載する。また、同じ内容を SNS へも流す、という
ような対応をすれば、年配のかたもなじみやすいのでは。

- ・各支部等からの情報収集
総会等で支部より提出する事業計画に、SNS への掲載可否確認を取れる仕組みをつくるのはどうか。
掲載可能な場合は、SNS へアップロードする。

会員事務所について、1 事務所 15 秒くらいの動画紹介を作成し、1 日 1 社ずつ SNS へアップしていくのはどうか。内部交流にもなる。

コロナ禍により支部で ZOOM 会議実施することとなった。ZOOM 会議だと、若手の参加が多くなる傾向にある。

どのコンテンツを、どう紹介していくかの検討が必要。情報収集のためには、こちらからの具体的な働きかけが必要。

4. その他

【次回委員会迄の宿題】

- ・Twitter の個人アカウント作成、使ってみる。また、神事協アカウントをフォローする。
 - ・広報情報委員会での連絡手段（メール以外）の検討
 - ・作業担当の希望を考える
- ・ 広報情報委員会のメーリングリストを作成し、当面はメーリングリストにて連絡をとる。

次回委員会 調整さんにて決定する

- ・会議は基本 ZOOM 開催とし、参集の必要な場合は参集する。

2021～2022 年度 第 3 回 一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 広報情報委員会 議事録			
開催日時	令和 3 年 12 月 3 日（金）	会 場	神事協会議室（Web）
出席者	担当副会長：杉本勝郎 小松正道(W) 委員長：鈴木武昭 副委員長：白川 幹(W) 委員：櫻田修三 長友寛昌(W) 鈴木玲成(欠) 近藤敦司(W) 熊澤悟史 中山裕次 事務局：久保田千尋		
1. あいさつ ・ 杉本担当副会長 2. 報告事項 3. 議題 （1）広報情報委員会の活動について 1）令和 4 年度予算要求案について （支出） ・ 交通費に通信費は入っているのか？要確認 → 入っていないが、通信費の計上は不要とのこと。 ・ 交通費については委員会 6 回＋臨時 1 回の 7 回分で記載予定 ・ 印刷費、HP 製作費については、根拠資料として、大まかな見積資料もあわせて提出する。鈴木委員長、長友委員にて手配する。 ・ パンフレット印刷費は、見積金額により記載額を決定する。 ・ HP 製作費として、1,000,000 円前後、見積金額により記載額を決定する。 ・ HP 更新作業候補：旧 HP を現在も利用している、会員ページ・会員検索機能 等 ※実際の作業ページは今後委員会で検討する （収入） ・ HP のバナー広告費 現在掲載の 2 社掲載料 100,000 円分を計上する。 2）日事連補助事業について ・ 具体的な事業内容が決まっていないと提出が難しい。今年度は見送り、来年度同様の制度があれば、検討する。 3）バナー広告について ・ 要領の改定について、会長より要望があり、検討する。 ・ 現行の要領について、バナー広告と紙媒体の両方について規定されているので、掲載要領をそれぞれわかる。 ・ 紙媒体の掲載要領については、会報誌編集特別委員会にて検討してもらう。 ・ 契約期間が最大 12 か月と規定されているが、自動更新としてほしい旨、掲載社から要望がある。 ・ 1 年で自動更新とする場合は、契約期間を 1 か月単位から 1 年単位とするのはどうか。 ・ 自動更新とする場合は、契約の手間がかかるので、4 月など契約更新日を統一し、それ以降の申込は月割りとするのと良いのでは。次の更新年以降、契約更新日を揃える形とする。 ⇒契約を 1 年単位とし、自動更新とする。 ・ 掲載金額については、今後検討が必要か。 ・ 会員外の掲載について、なくしてほしいとの要望があるが、現行の要領第 3 条の内容でふるいにかけるのでは。判断先の委員会を決定する、建築関係など明記すればよいのでは。 ・ 一般社団法人なので、掲載企業については、ある程度のふるいにかける必要はあるのでは。 ⇒制限はせず、一般企業からも受ける。ただし、要領に基づき掲載可否を判断する旨、予め断りを入れる。 4）SNS について ・ まずは現在アカウントのあるツイッターの運用をスタートする。 ・ その後、Facebook、Instagram を作成し、運用することを検討している。 ・ 委員はツイッターのアカウントを作成し、操作し慣れること、神事協（とりあえず非公式）のアカウントをフォローするよう委員長より再度依頼された。（匿名アカウントでのフォローの場合は、神事協アカ			

ウトにツイッター内の DM で委員名を連絡する。)

- ・ 1 月の理事会にて公式アカウントに変更する審議にかける。
- ・ 広報情報委員で毎日更新していくことを目標としている。
- ・ 将来的には神事協会員の事務所の公式アカウントとの相互フォローを視野に入れている。

4. その他

- ・ 次回日程 調整さんにて日程調整する。Web 会議。
- ・ 数回に 1 回程度参集にて実施予定。

5. あいさつ

- ・ 小松担当副会長補佐

2021～2022 年度 第 4 回 一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 広報情報委員会 議事録			
開催日時	令和 4 年 2 月 2 日 (水)	会 場	Web 会議
出席者	担当副会長：杉本勝郎 小松正道(欠) 委員長：鈴木武昭 副委員長：白川 幹 委員：櫻田修三(欠) 長友寛昌 鈴木玲成 近藤敦司(欠) 熊澤悟史 中山裕次 事務局：久保田千尋		
1. あいさつ ・ 杉本担当副会長 2. 報告事項 ・ 12/17 統括委員長会にて、公式 SNS 開設についての資料を鈴木委員長より提出した。 また、（仮称）会員サポートセンターについて議題となり、広報情報委員会には会員用ホームページの整理が求められている。業務支援委員会がとりまとめているので、そこへ協力していく。 ・ 来年度の予算要求案については、審議中とのこと。 3. 議題 （1）神事協公式 SNS 運用について ・ 1/21 理事会に検討事項としてガイドライン案と説明資料を提出した。 ・ 1 月中意見募集、2/18 統括委員長会にて報告、3/3 総財務委員会に提出、3/18 理事会審議予定 （2）一般社団法人神奈川県建築士事務所協会広告掲載取扱要領について ・ バナー広告の申込期間の単位、更新について （意見） ・ 更新については自動、都度は選べたほうがよいのでは。自動だとハードルが上がる。 ・ 自動更新の場合は、金額が将来変更となる場合の規約は盛り込む必要がある。 ・ 自動更新、都度更新は統一したほうが事務的手間は省ける。 ・ バナー集客の方法については、今後検討する必要がある。 ・ 1 年利用の場合の割引があるので、時期をそろえるのは難しいのではないかな。 ・ 自動更新の場合も、更新時期の通知は必要。 ・ 更新時期を全員揃える場合は、初年度は 1 年分＋不足分と多めに料金を請求することもありではないかな。 ・ バナーの配置を関連ページのみなど特定頁のみとすることも将来的に検討できるのでは。 ⇒自動更新を基本に、更新時期が近付いたら連絡をすることとする。 期間は申込月より 1 年とする。年払い。 金額は年単位で記載する。それ以外は別途相談と記載。 ⇒鈴木委員長にて修正の上、メーリングにて委員に確認する。 （3）会報誌編集特別委員会からの検討依頼について ・ 会報誌編集特別委員会より広報情報委員会に、会報誌記事の HP 掲載について検討依頼があった。 ・ PDF 掲載は可能。アイコンボタンに関しては改修時にまとめて作業するため、待ってもらうこととする。 （4）日事連・令和 4 年度単位会組織強化支援事業の実施依頼について（2.18 申請締切） ・ 日事連より、標記の実施依頼が正式にきた。 ・ 今年度あるいは来年度以降申請できそうな内容があれば、1 週間をめどにメーリングするよう依頼された。 （5）その他 1）業務支援委員会より 2022 年度講習内容の年間スケジュール作成 ・ 講習の年間スケジュールを作成後に、広報情報委員会へ HP へのアップロードを求められている。 ・ スケジュール決定後、HP にアップロードをする。 2）「（仮称）会員サポートセンター（コンシェルジュ）」の設立に向けたコンテンツの検討 ・ コンテンツ決定後に、広報情報委員会へ HP へのアップロードを求められている。			

- ・ HP の掲載については、業務支援委員会との調整が必要。
- ・ 会員ページの組みなおしを検討する。

（今後考えられる作業）

- ・ 年内にスケジュールをアップロード
- ・ （要確認）委員会、日付、ID、担当委員会、時間、会場、カテゴリー 検索機能 カレンダー
- ・ 購入ページとの連携
- ・ 誰でも使用しやすいページの構築

4. その他

次回委員会 調整さんで調整

2021～2022 年度 第 5 回 一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 広報情報委員会 議事録			
開催日時	令和 4 年 4 月 1 1 日（月）	会 場	Web 会議
出席者	担当副会長：杉本勝郎 小松正道 副委員長：白川 幹(欠) 委 員 員：櫻田修三(欠) 長友寛昌 鈴木玲成 近藤敦司 熊澤悟史 中山裕次 事務局：久保田千尋		
1. あいさつ 2. 報告事項 ・ 鈴木前委員長が委員長を辞任したため、当面は杉本担当副会長が委員長を代行することとなった。 3. 議題 (1) 委員会運営体制について ・ 広報情報委員会の活動について、定款施行細則の内容を確認。 「本会の目的及び事業における市民県民・行政等への効果的な情報発信（SNS、ホームページ等）の強化に関する企画、実施及び管理運営に関する事項」 ・ 明確な活動内容は決まっていない。去年は、SNS、HP 中心に活動していた。 SNS の活用についての委員意見 ・ ホームページ、インターネットは一度炎上すると大変なことになるので、あまり活用していない。悪い部分もある。真面目な取り組みなら問題ないのでは。 ・ 発信すべき情報のイメージがない。発信する内容が漠然としている。何のためか。 ・ 情報発信をどこに対して、誰が、が必要。独り言にならないか心配。会の活動の発信をどこ向けにするか、検討が必要。その後、コンテンツの検討の流れがよいのでは。 ・ SNS を開設した。発信するとなると何を発信するかを一度考える必要あり。ターゲット、伝えたい内容を検討する必要がある。広報情報委員会のなかで統一する必要があるのでは。 ・ SNS の発信する方向性により変わるのでは。外向けはしごと展等イベント告知・報告中心 内向けは講習会告知 等 考えの記載には踏み込まず、判断の絡まない内容がよいのでは。 ・ ホームページは今の時代には必要。会社のお客さんはホームページを見てくることが多い。新規の会社との取引の場合、まずホームページの有無は調べる。信頼度が増す。SNS は一方通行での発信。ツイッターのつぶやきは情報として必要なのか、相手に思惟をどこまで伝えることができるのか。効果に疑問がある。良いようで難しい。 ・ 相手側に興味・ニーズがあれば向こうから飛び込んでくる。SNS は誰に届けるか、誰が見てくれるかわからない。HP に付随してなどの見方ではないか。広報情報委員会として SNS とどう付き合うか。 ・ 会報誌は会員以外に関係団体等へも配信している。Web ページへのリンクも記載していたりする。 (2) バナー広告掲載希望への対応について（再検討） ・ 会員外より申込のあった場合の対応についての判断基準について ・ まずは賛助会へ勧誘する。 ・ 広報情報委員会ですら問題がないか意見書を出し、最終的に理事会または正副会長会での判断とするのはどうか。 ・ 問題の起きたときはその際に掲載等の再検討をするのでよいのでは。 (3) HP 作成に係る業務支援委員会との連携について ・ 業務支援委員会が具体的に広報情報委員会に求めている内容を確認する。場合によっては業者を呼ぶことを検討する。 (4) その他 ・ 今年度広報情報委員会予算の確認 ・ 最終的な予算については、杉本担当副会長にて確認し委員へ連絡する。 4. その他 次回委員会 6 月 1 4 日（火）15 時～神事協会議室にて参集（情勢により Web）会議			

2021～2022 年度 第 6 回 一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 広報情報委員会 議事録			
開催日時	令和 4 年 6 月 1 4 日（火）	会 場	神事協会議室
出席者	担当副会長：杉本勝郎 小松正道(W) 副委員長：白川 幹 委 員：櫻田修三 長友寛昌(W) 鈴木玲成(W) 近藤敦司(W) 熊澤悟史 中山裕次(欠) 事務局：久保田千尋		
1. あいさつ ・ 小松担当副会長補佐 2. 報告事項 ・ 6 月 10 日拡大版統括委員長会報告 会員サポートセンター意見統一、情報交換 ・ 地引網大会 6 月 25 日開催 3. 議題 (1) 委員会運営体制について SNS、HP 等 任期残り 1 年で何が出来るか。HP の企画運営をどうしていくか。 今年度の活動の方向性について意見を出した。 ・ 今年度は HP 改訂としてもよいのでは。SNS はガイドラインをしっかりと作成する必要がある。 他団体で講習会周知に SNS を活用したところ、例年 50 人ほど参加の講習会に 200 人以上応募があった。 外部からの参加が六割ほどだった。SNS は告知効果が大きい。方法、目的を練って何年もかけてやっていくのもよいのでは。 ・ まず HP を整理する。SNS は切り離して考えてもよいのでは。 ・ SNS と比べると、会員サポートセンター設立については具体的に内容が出ている。中途半端になるよりは HP を先にしっかりやっていけばよいのでは。まずは会員をターゲットにするとよいのでは。 ・ SNS は各委員会で活用してもらう。会員サポートセンター設立は広報情報委員会として具体的にどうかかわっていくのか整理が必要。 ・ HP を 1 年でまとめていくのがよいのでは。広報情報委員会は外部へアピールしていく委員会。 ・ SNS はどのようなコンテンツを発信するのか温度差があり難しい。HP の制作は広報情報委員会のみでは難しいとは思いますが、出来るところから少しずつアップデートしていくのがいいのでは。会員サポートセンターは積極的に進めていくべき内容。 ・ 会員サポートセンターについて、業務支援委員会にてアンケートを 2 回行っている。広報情報委員会で熟読し HP 改訂にあたり何が必要か、交通整理が必要。 ・ 今の HP は使いやすいので、肉付けする方向でよいのでは。その際のカテゴリ分けを広報情報委員会が担えばよいのでは。 ・ 会員 HP は項目が意外と多い。ゼロから作り直すのは大変なので、現在の内容を土台に少し変更する程度がよいのでは。 ・ 対外的なページは更新をしていくことが大事。アクセス数をあげるためにターゲットを決めていく。目標値の設定。どうやっていくかを考えればよいのでは。 ・ HP 改訂に月額少額を数年単位で支払えばできるようになっている。常に更新性を保っていくという形で業者に依頼することが現在のスタンダードとなっている。 ・ 業務支援委員会の HP に関するロードマップが出来たら広報情報委員会として関わっていく。 ⇒ ・ 会の方針である会員サポートセンター設立に関しての立ち位置を確認し、HP にかからんでいく。 ・ SNS に関する話し合いの継続。 (2) バナー広告について 神事協 HP 内 賛助会 HP へのリンクならびにバナー広告の配置が HP の一番下になっている。 この配置の変更検討依頼が賛助会担当副会長より広報情報委員会へあった。 ・ トップのページのクリック出来るところに賛助会バナーが必要なのでは。			

- ・ 一番上の写真とインフォメーションの間に持ってくるとよいのでは。

⇒

- ・ トップページのみ、一番上の写真とインフォメーションの間へ配置変更することとし、見積を依頼する。見積後、総財務委員会・理事会へはかることとする。
- ・ ほかのページのフッターにも表示されているが、この表示は変更しない。

(3) HP 運営体制について

- ・ 青年部会運営委員会 YouTube 公開について、公開が止まっている。
- ・ 神事協公式 SNS 運用ガイドラインを広報情報委員会にて作成することとなり、案を作成した段階で止まっている。
(意見等)
- ・ 対応マニュアルはお金をかけて作るべき。
- ・ 最終的な責任の所在をどこにするのかはしっかりする必要がある。
- ・ 今後ちゃんとしたガイドラインを作成する必要がある旨記載する必要がある。
- ・ 「対外的に運用するにあたり」と限定する必要があるのでは。

⇒

- ・ 杉本担当副会長にてガイドラインを再校正し、広報情報委員会に確認する。確認後、総財務委員会・理事会へはかることとする。

4. その他

次回委員会 8月9日(火) 15時～ 神事協会議室

2021～2022 年度 第 7 回 一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 広報情報委員会 議事録			
開催日時	令和 4 年 8 月 9 日（火）	会 場	Web 会議
出席者	担当副会長（委員長代行）：杉本勝郎 担当副会長（補佐）：小松正道 副委員長：白川 幹 委員：櫻田修三(欠) 長友寛昌(欠) 鈴木玲成 近藤敦司(欠) 熊澤悟史 中山裕次 事務局：久保田千尋		
1. あいさつ ・ 杉本担当副会長 2. 報告事項 ・ 地引網大会実施、スポーツ大会実施予定 ・ 来期の予算策定について 3. 議題 (1) バナー広告について：理事会意見の対応（賛助会とバナーの位置再検討） ・ 前回委員会にて提案した賛助会 HP とバナー位置変更について理事会にはかったところ、賛助会 HP 位置変更については承認され、バナー位置変更については再検討となった。 ・ バナー位置の変更は現状上下の移動のみしか出来ない。横位置にしようとするフレームを変えないといけなくなる。 ⇒賛助会 HP 位置は変更とし、バナー位置については当面は従来通りの位置で変更なしとする。 次の HP 改訂の際の課題としてバナー位置の検討を残す。 (2) (一社) 神奈川県建築士会創立 70 周年記念事業協賛の件 ・ 建築士会より協賛の依頼があり、理事会で協賛が承認された。 ・ 協賛事業の内容として、記念誌への広告掲載がある。広報情報委員会にて意見を出し、業務支援委員会で広告作成することとなった。 ・ 杉本担当副会長作成のレイアウト案の確認：協会の概要・紹介／神事協組織体制の紹介（人事・組織体制、委員会）／（仮称）会員サポートセンター コンテンツメニューの紹介（概要・目的の説明 利用方法 会員事務所 運営サポート（内向きサポート）コンテンツ 会員事務所 業務受託戦略サポート（外向きサポート）コンテンツ） （掲載内容の意見等） ・ サポートセンターを中心に記載し具体的なサポート内容を分かり易く表示すればよいのでは。 ・ 各種講習を実施していることをアピール。ターゲットをしばり響く内容とする。 ・ サポートセンターの内容でまとめたらよいのでは。まとめられることをまとめる。 ⇒サポートセンターを分かる範囲でメインに記載。その下に協会概要を記載するのはどうかと業務支援委員会に提案する。 (3) 会員増強活動に関するアンケート結果報告 ・ 日事連の実施した会員増強活動に関するアンケート結果が示された。 ・ 委員は一度読み込むよう依頼された。 （アンケートより派生した意見等） ・ 会員増強は役員会でも常に上がる話題。新入会員を増やすこと以前に内部へのフォローが必要では。内部外部のエンゲージメントをあげる、思い出、愛着をわかせることを広報情報委員会はやっていかなければならないのでは。SNS がそうだったのでは。委員会活動等を見せていく姿勢が必要では。 ・ 既存会員へ手厚くすれば新たな会員も入ってくるのでは。 ・ 入会のメリットデメリットは会の活動に参加し自分で探すしかない。発信するのであれば一人一人が意見を出すとよいのでは。 ・ 見た人が感じないと魅力は分からない。SNS、HP で上手く書けば宣伝になる。炎上はよほどの内容でなければ気にすることは無いのでは。少しずつ前に進めていくべきでは。1 つ 1 つ出来るところからやっていくしかないのでは。 ・ 今の神事協を伝えることは重要。今のいいものを伝える。Twitter の利用方法を考えるのもひとつの手段。HP で会員サポートセンターの運用が可能か、業務支援委員会との協働が必要。広報情報委員会でやっていくことを自ら考える。			

- ・ 横須賀支部では建築なんでも相談ラジオを継続して実施している。広報情報委員会でも肩ひじ張らず発信していけばよいのでは。1年2年続けていけばよいパターンが出てくるのでは。
- ・ Twitterは150字ほどで手軽に話題を提供出来てよいのでは。
- ・ 経済的メリット、人とのつながりが神事協に居続けたいと思う理由。Twitterで少しずつ記事を積み重ねていくことで財産になるのでは。
⇒次回委員会 SNSで出来そうなことを持ち寄る。SNS関係を進める。

4. その他

次回委員会 調整さんで決定する

2021～2022 年度 第 8 回 一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 広報情報委員会 議事録			
開催日時	令和 4 年 1 0 月 4 日（火）	会 場	Web 会議
出席者	担当副会長（委員長代行）：杉本勝郎 担当副会長（補佐）：小松正道 副 会 長：永島優子 業務支援委員長：小山美智恵 副 委 員 長：白川 幹 委 員：櫻田修三(欠) 長友寛昌(欠) 鈴木玲成 近藤敦司 熊澤悟史(欠) 中山裕次 事 務 局：久保田千尋		
1. あいさつ 2. 報告事項 3. 議題 （1）建築士会創立 70 周年記念広告の件 ・ 会員サポートセンターに特化した広告が作成された。 ・ 会報 1 1 月号に同内容のちらしを封入予定。 ・ 費用については総財務、理事会にあげる。 （2）会員サポートセンターの件（各委員会、役割分担等） ・ 各委員会のコンテンツを持ち寄り再編成し、新しいものを付け加え会員に提供していくことを主旨とし動いている。 ・ 永島業務支援担当副会長より、会員サポートセンター設立検討 活動計画の説明。 ・ 会員サポートセンター確立のため、業務支援委員会が幹事的な役割を行い、各委員会へ業務を分担し進めることとなった。 広報情報委員会は、講習会サポートならびにホームページ開設支援の検討が担当となっている。 10/21 統括委員長会にて内容の下検討（問題点等の報告）と実施スケジュール案の報告、11/18 理事会にて検討結果の報告ならびに進捗状況の報告を求められている。 ・ すでに神事協にある会員サポートサービスを機構化し、アピールする意味付け。内容が古かったり、機能していないものをブラッシュアップするために各委員会に協力頂きたい。 （講習会アーカイブについて） ・ 講習会アーカイブについては、著作権の問題あり。どうアップするか。 ・ YouTube は、限定公開の機能はあるが、URL を教えてしまうと見られてしまう問題がある。また、課金の仕組みがない。 ・ 運営は、課金制度が出来ると良い。収益をあげ、会員を増やすことが裏目的。どうお金を収集するか。 ・ 講習については、録画配信で時間が決められてしまうよりは、いつでも見られるほうが会員サービスになる。 （ホームページ開設支援について） ・ ホームページ開設支援は、道筋を示すしか出来ないのでは。 （3）HP 会員サポートセンター特設リンク（今期中 追加予算 理事会具申） ・ 作り変え、トップページのプラスの検討（意見等） ・ 今のホームページはリニューアルしにくい設計。また、会員ページは古いまま使用されている。分かり易いホームページを作ったらどうか。 ・ ページ構成がどうなっていくか？→建築コンシェルジュをいじり、会員サポートセンターほかにうまく枝分かれしていくイメージで検討している。どういうものが見やすいかは、一緒に考えていきたい。 ・ 入り口は 1 本にしたほうが分かり易いのでは。その場合は、大々的な改定が必要。 ・ いま会員サポートセンターでやろうとしていることは既存の枠におさまらない、ちゃんとしたシステム構築が必要。いまのホームページは同じことを繰り返し表示している。コンセプトを明確にするためには構成から組みなおす必要あり。HP 作成は、専門家か、ある程度知識を蓄えたうえで実施しないと難しいのでは。 ・ 今回のサポートセンターは、会員増強、会員の為の HP との位置づけも大きい。建築コンシェルジュが			

外部だけでなく会員も活用していくものになれば。HP 作り変えは必要では。

- ・ トップページは変えざるを得ないのでは。トップページを変更し、その先のリンクを今あるページにしていく。そして会員サポートセンターのページを作成する。
- ・ トップページは、一般の方、外部の事務所の方、賛助会、会員向け くらいの表示でも良いのでは。
- ・ それぞれのページのコンテンツの構成を共通させると分かり易いのでは。
- ・ 検索したときにトップに神事協のページが出てくるようにすることが必要では。
- ・ プロも入れて打ち合わせを行い作成すると良いものが出来るのでは。
- ・ 会員サポートセンターページの作成、トップページの改定すべてを行うには間に合わないのでは。
- ・ 既存のものを利用する方法がやむを得ないのでは。インフォメーションくらいまででまとめるのが今年度の作業では。
- ・ 時間をある程度決めて活動しないと決めにくいのでは。時期的にどこを目指していくのか決めるのが重要では。
- ・ 会員、一般どちらに特化していくのか、柱を決め変えたほうが良い。
- ・ まずはトップページの変更。既存利用のなかでのトップページ、会員サポートセンターとのマッチングを増やす必要あり。作り変えを念頭に今の時代にあったホームページをつくる。
- ・ ホームページ改定は来年度の作業。来年度の作業について話し合いながら、HP 開設支援検討、各委員会へアーカイブ編集方法の教授、課金可能性のあるもののリストアップ依頼を実施していく。
- ・ コンテンツを見やすくする作業を実施する。
- ・ 杉本担当副会長にてまとめて、統括委員長会にて報告する。
- ・ 委員会の補完として、メーリングにて相談していく。

(4) 令和5年度予算要求案策定について

- ・ Web サイト、パンフレット作成、HP 改定概算 見積書を取って案を杉本担当副会長にて作成し、メールにて確認する。

(5) SNS の活用意見交換

(活用に関する意見)

- ・ 神事協 広報情報委員会の独自のアカウントを持つ。
- ・ 神事協の活動をツイートする。
- ・ 委員も自分のアカウントを持ってリツイートする。
- ・ 活動している人間が分かるよう、広報情報委員会であることをプロフィールに表記する。
- ・ ハッシュタグを付けてツイートを行う。
- ・ ハッシュタグは文言を予め決めておき、ほかの SNS でも同じ文言を利用する。
- ・ 他団体でグループウェアを利用している。投稿したい内容を送信すると、ワークフローを回し決裁される。投稿する流れを作らないと個人に紐づき運営がうまくいかなくなる。どうワークフローをまわすのか考えていく必要がある。神事協全体の意識を上げ、回していくフローを作らないといけない。
- ・ 最低限のセキュリティと使いやすさが重要では。
- ・ 炎上対策として、ガイドラインを作成し、ガイドラインに沿っているかのチェック機構を設ける必要がある。

4. その他

- ・ 次回委員会 調整さんで調整する。

2021～2022 年度 第 9 回 一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 広報情報委員会 議事録			
開催日時	令和 4 年 1 2 月 1 日（木）	会 場	Web 会議
出席者	担当副会長（委員長代行）：杉本勝郎 担当副会長（補佐）：小松正道 副委員長：白川 幹 委 員 員：櫻田修三(欠) 長友寛昌 鈴木玲成(欠) 近藤敦司(欠) 熊澤悟史 中山裕次 事 務 局：久保田千尋		
1. あいさつ 2. 報告事項 3. 議題 (1) 令和 5 年度予算要求案について ・ 総財務委員会より依頼のあった予算要求案の作成について、杉本担当副会長作成の案により検討した。 ・ 杉本担当副会長作成の案の内容にて提出することとする。 (2) 会員外バナー広告申し込みについて ・ 株式会社 AZWAY より申込があり、掲載可否について検討を行った。 (意見等) ・ 基準を決める（建築のみ、不動産も OK など）。 ・ 信用情報が得られた会社のみにする。 ・ まずは掲載してみてもよいのでは。 ・ 一度掲載してみて良い部分、悪い部分を絞らないと具体策が出てこないのでは。 ・ 協賛なので、公序良俗に反していなければよいのでは。 ⇒今回は承認することとする。正副会長会に杉本担当副会長より報告後、掲載することとする。 今後は委員会で決定し掲載して良いかも正副会長会にて確認する。 (3) 会員サポートセンターの件（前回のつづき 当委員会割り当てについて） ・ 広報情報委員会は、講習会サポートならびにホームページ開設支援の検討が担当となっている。 (講習会サポートについて意見等) ・ 実施している講習の配信を随時みられるような形に出来れば負担少なく出来るのでは。 ・ 過去の動画は著作権確認をどうするか、情報が古くないか、どこまで確認をしていくのか。今後の講習会であれば著作権を確認の上で使用していく。見られる対象者を、URL を知っている人限定とするのか、ホームページでのログイン者限定とするのか。見られる対象者をログイン者のみとするのであればホームページ改定との関連もあるのでは。 ・ 課金の方法をどうするか。 ・ ログインして見られる仕組みとする場合は、会費のなかで見られるようにすべきではとの議論も出てくるのでは。 ・ 講習参加者はログインする事で復習が出来るとの仕組みがあれば便利なのは。新たに見たいひとは課金することで見ることが出来れば便利では。課金は現在神事協で利用しているオンライン支払を利用すればよいのでは。講習会の著作権の問題はある。 ・ 料金、公開期間、著作権等は、講習会を作った委員会の判断になるのでは。各委員会の意見を吸い上げる必要がある。有料としログイン制にする場合はホームページ制作会社との相談になるのでは。各委員会に持っているコンテンツについてリストを出してもらい、出す内容の判断は委員会に委ねるしかない。今後は講師依頼時に著作権について聞く必要があるのでは。 ・ 写真を掲載し音声のみの提供とする考えもありなのでは。生の講習の一発録音の場合は、情報が正しいかなど問題がある場合がある。場合によってはオリジナルで録画するのもいいのでは。 ⇒まずは各委員会のアーカイブ調査をし、中身の判断依頼を同時にする。揃った段階で仕分けをする。 どのように出していくかは継続して審議していく。 (ホームページ開設支援について意見等) ・ ホームページ制作会社の紹介でいいのでは。 ・ 何でホームページを作りたいのか？（営業目的/名刺替わりの HP）どのように考えているのか？方向性の具体性を示してもらい、相談に乗るくらいしか出来ないのでは。 ・ 自社のホームページ作成時の情報を教える。青年部会に相談する。			

- ・ 相談に乗る窓口のみつくる。
- ・ レクチャー動画を作成し疑問があれば聞いてもらう。
- ・ 事務所協会のホームページにリンクを付ける。
- ・ 広報情報委員会にホームページ開設窓口を設置する。
- ・ ホームページ開設の際の整理内容をまとめた用紙を作成する。
- ・ 神事協のホームページに会員用のバナーを作り、そこで広告できる仕組みをつくる。
⇒今後も検討する。